

名寄市総合計画(第3次)策定に向けて

将来人口推計 報告書

令和7年12月
名寄市

目 次

1 将来人口推計の手法.....	1
(1)推計手法について.....	1
(2)基準人口.....	1
(3)推計のパターン.....	1
2 推計結果の概要.....	2
3 パターン別の推計結果.....	3
(1)パターン1(社人研準拠).....	3
(2)パターン2(5年純移動率).....	4
(3)パターン3(10年純移動率).....	5
(4)パターン4(10年純移動率改善).....	6
(5)《参考》社人研推計準拠.....	7
(6)《参考》名寄市人口ビジョン.....	8
4 年齢3区分別人口の比較.....	9
(1)年少人口(0～14歳).....	9
(2)生産年齢人口(15～64歳).....	10
(3)老年人口(65歳以上).....	11

1 将来人口推計の手法

(1)推計手法について

同じ年に生まれた人々の集団のことを指す「コーホート」を用いて将来の人口予測の計算を行います。

計算にあたっては、国立社会保障・人口問題研究所(以下、「社人研」と言う。))における「日本の将来推計人口」の推計方法であり、各コーホートについて、「自然増減」(出生と死亡)及び「純移動」(転出入)という2つの人口変動要因それぞれについて将来値を仮定し、それに基づいて将来人口を推計する方法である「コーホート要因法」を採用します。

(2)基準人口

国勢調査結果や社人研による将来人口推計と比較しやすくなるよう、令和7年10月1日の住民基本台帳人口を基準とします。

(3)推計のパターン

純移動率の仮定を変更した下記の5パターンで将来人口推計を行い、既存の将来人口推計結果と比較します。

■推計パターン

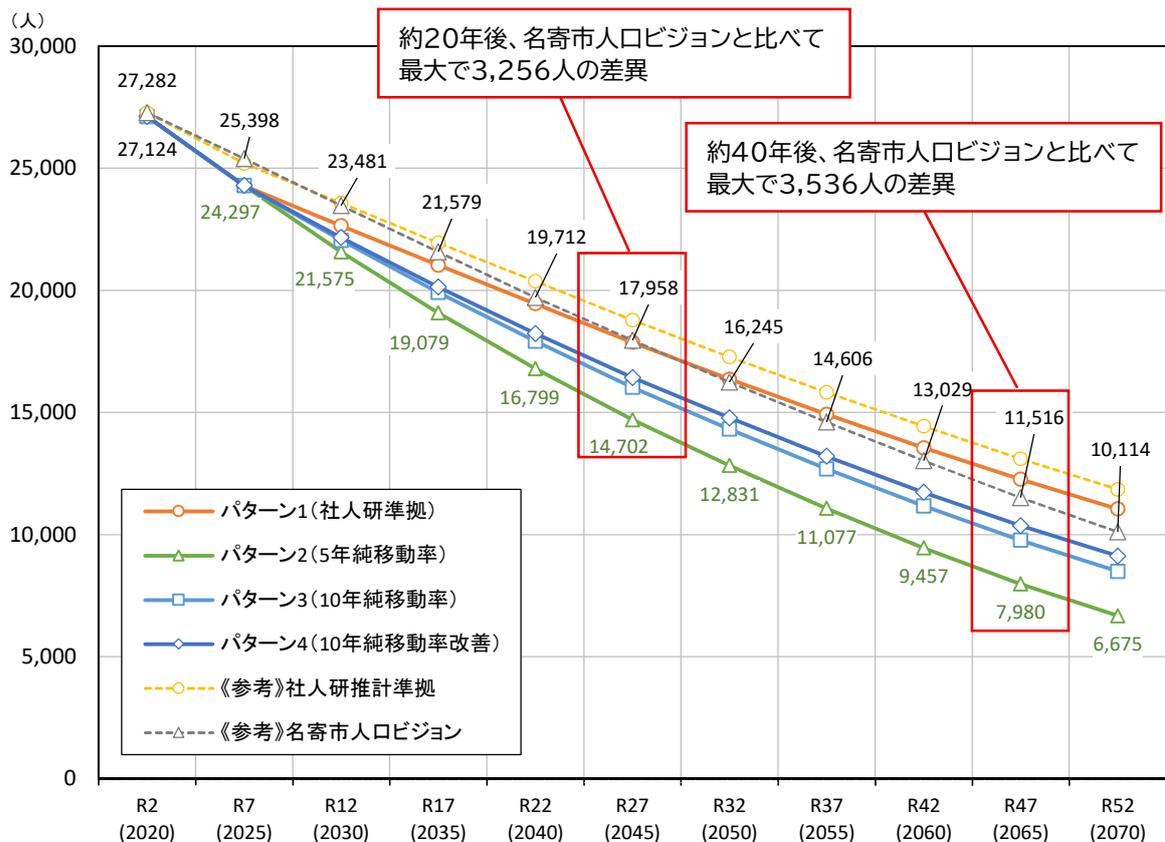
パターン名	基準人口	推計の概要
パターン1 (社人研準拠)	R7	社人研「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」の仮定値に準拠し、基準人口を令和7年10月1日の住民基本台帳人口として推計。
パターン2 (5年純移動率)	R7	パターン1の仮定値のうち、純移動率を過去5年間の人口移動状況を反映。(R2～7の住民基本台帳の人口移動状況を反映) 合計特殊出生率を厚生労働省公表値(1.44)と仮定。
パターン3 (10年純移動率)	R7	パターン1の仮定値のうち、純移動率を過去10年間の人口移動状況を反映。(H27～R7の住民基本台帳の人口移動状況を反映) 合計特殊出生率を厚生労働省公表値(1.44)と仮定。
パターン4 (10年純移動率改善)	R7	パターン1の仮定値のうち、純移動率を過去10年間の人口移動状況を反映。(H27～R7の住民基本台帳の人口移動状況を反映) 加えて、20～30代の純移動率が10%改善すると仮定。 合計特殊出生率を厚生労働省公表値(1.44)と仮定。
《参考》 社人研推計準拠	R2	社人研「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」とほぼ同等の結果。
《参考》 名寄市人口ビジョン	R2	名寄市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(令和5年4月改訂)の推計結果(2022年4月推計パターン2)。 純移動率は社人研「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」に準拠し、合計特殊出生率は1.52を維持すると仮定。

2 推計結果の概要

過去5年間の純移動率が今後も続くと仮定したパターン2の総人口が最も少なく、約20年後の令和27年は14,702人、約40年後の令和47年は7,980人になると見込まれます。

過去5年間は純移動率が悪化していることから、社人研準拠推計や名寄市人口ビジョンなど過去の推計結果と比べて人口減少が進展する予測となっており、人口減少速度を緩やかにするためには社会増減の改善を中心とした取組が必要とされます。

■総人口の推移



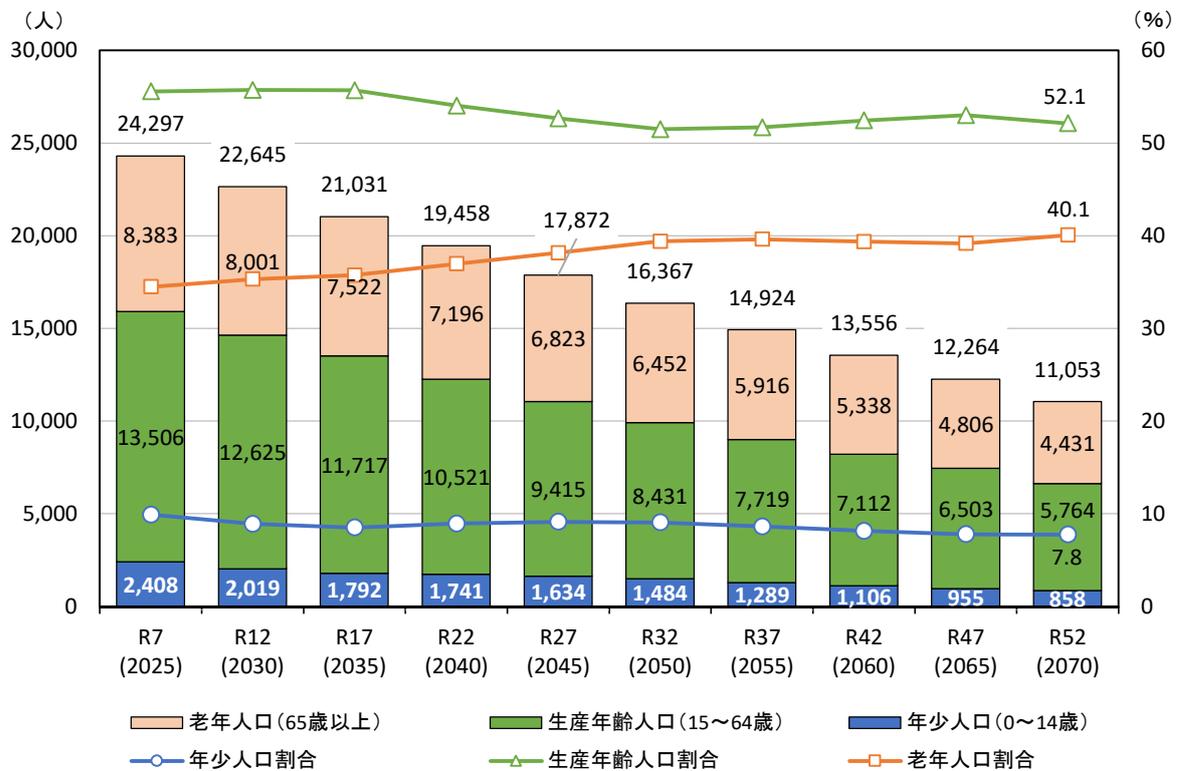
パターン名	R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)	R27 (2045)	R32 (2050)	R37 (2055)	R42 (2060)	R47 (2065)	R52 (2070)
パターン1 (社人研準拠)	24,297	22,645	21,031	19,458	17,872	16,367	14,924	13,556	12,264	11,053
パターン2 (5年純移動率)	24,297	21,575	19,079	16,799	14,702	12,831	11,077	9,457	7,980	6,675
パターン3 (10年純移動率)	24,297	22,055	19,917	17,923	16,033	14,316	12,691	11,171	9,768	8,495
パターン4 (10年純移動率改善)	24,297	22,110	20,026	18,079	16,231	14,546	12,947	11,449	10,063	8,804
《参考》社人研推計準拠	25,200	23,577	21,945	20,371	18,784	17,271	15,822	14,439	13,108	11,845
《参考》名寄市人口ビジョン	25,398	23,481	21,579	19,712	17,958	16,245	14,606	13,029	11,516	10,114

3 パターン別の推計結果

(1)パターン1(社人研準拠)

基準人口	令和7年10月1日(住民基本台帳人口)
合計特殊出生率	社人研「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」の仮定値に準拠
男女年齢別生存率	社人研「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」の仮定値に準拠
純移動率	社人研「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」の仮定値に準拠

■総人口と年齢3区分別人口割合の推移

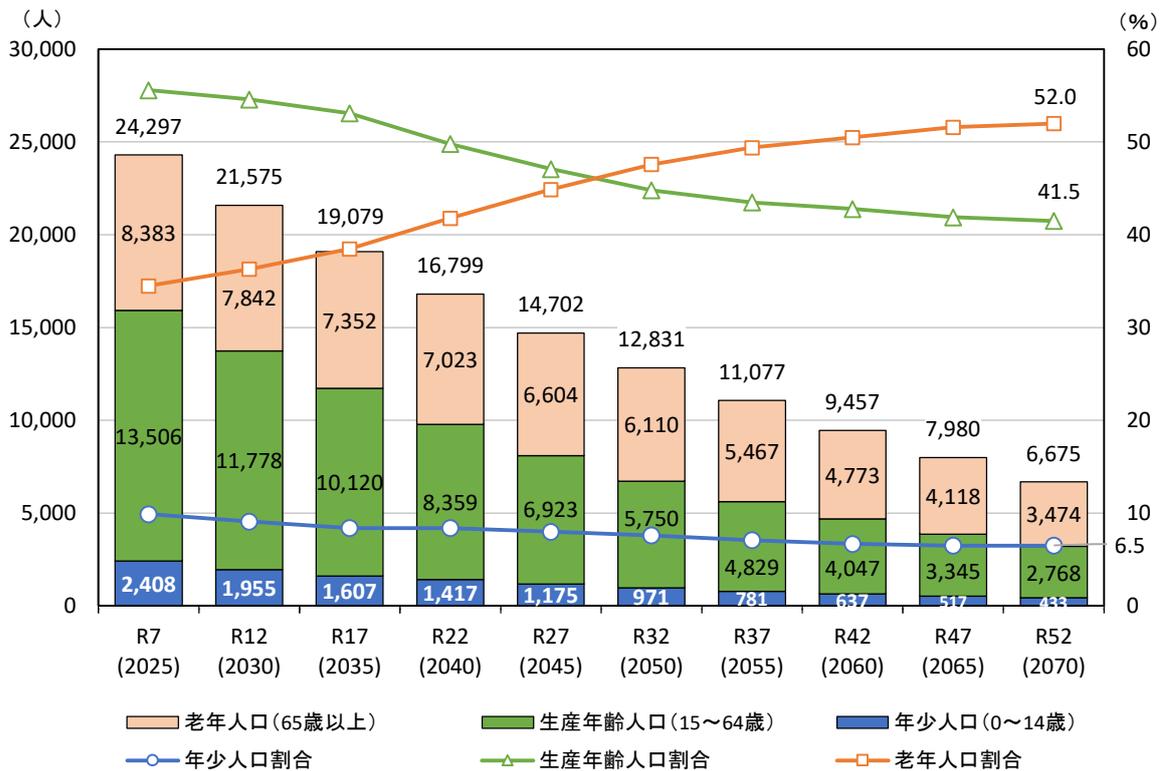


		R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)	R27 (2045)	R32 (2050)	R37 (2055)	R42 (2060)	R47 (2065)	R52 (2070)
人口 (人)	総人口	24,297	22,645	21,031	19,458	17,872	16,367	14,924	13,556	12,264	11,053
	年少人口 (0~14歳)	2,408	2,019	1,792	1,741	1,634	1,484	1,289	1,106	955	858
	生産年齢人口 (15~64歳)	13,506	12,625	11,717	10,521	9,415	8,431	7,719	7,112	6,503	5,764
	老年人口 (65歳以上)	8,383	8,001	7,522	7,196	6,823	6,452	5,916	5,338	4,806	4,431
割合 (%)	年少人口 (0~14歳)	9.9	8.9	8.5	8.9	9.1	9.1	8.6	8.2	7.8	7.8
	生産年齢人口 (15~64歳)	55.6	55.8	55.7	54.1	52.7	51.5	51.7	52.5	53.0	52.1
	老年人口 (65歳以上)	34.5	35.3	35.8	37.0	38.2	39.4	39.6	39.4	39.2	40.1

(2)パターン2(5年純移動率)

基準人口	令和7年10月1日(住民基本台帳人口)
合計特殊出生率	厚生労働省「人口動態統計(特殊報告)」によるH30～R4の実績値(1.44)が今後も継続
男女年齢別生存率	社人研「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」の仮定値に準拠
純移動率	住民基本台帳における令和2～7年の男女別5歳階級別純移動率

■総人口と年齢3区分別人口割合の推移

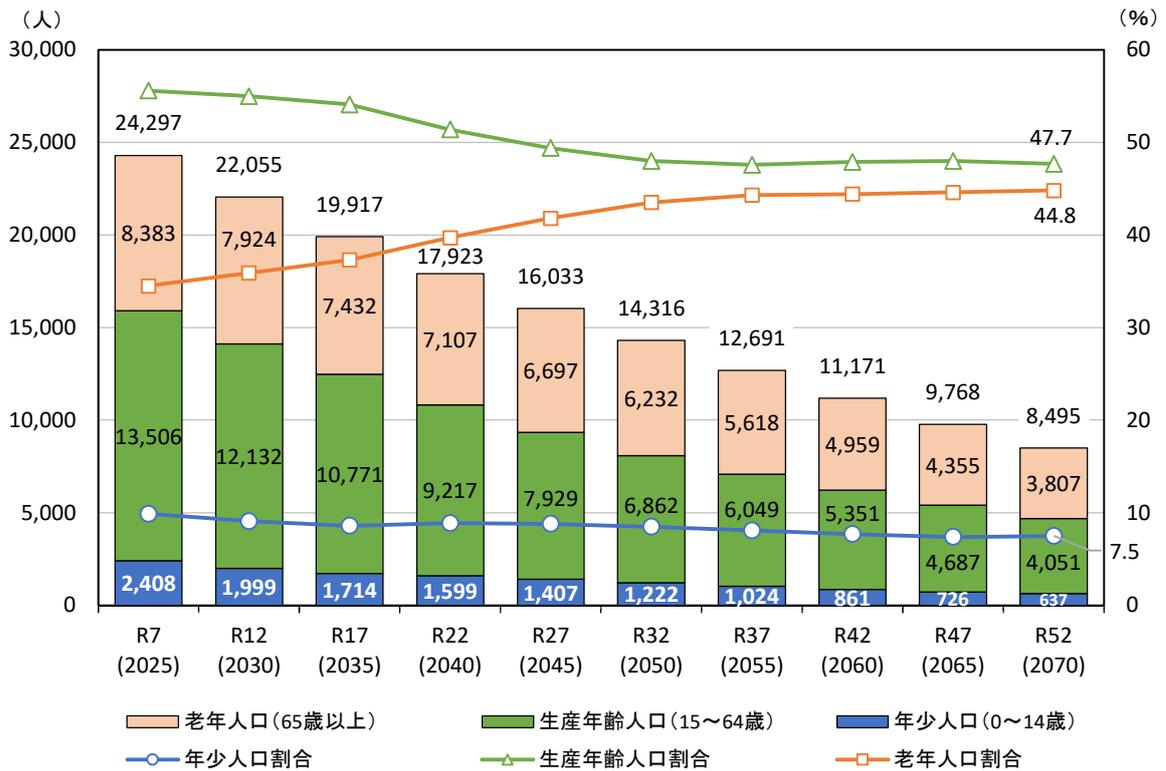


		R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)	R27 (2045)	R32 (2050)	R37 (2055)	R42 (2060)	R47 (2065)	R52 (2070)
人口 (人)	総人口	24,297	21,575	19,079	16,799	14,702	12,831	11,077	9,457	7,980	6,675
	年少人口 (0~14歳)	2,408	1,955	1,607	1,417	1,175	971	781	637	517	433
	生産年齢人口 (15~64歳)	13,506	11,778	10,120	8,359	6,923	5,750	4,829	4,047	3,345	2,768
	老年人口 (65歳以上)	8,383	7,842	7,352	7,023	6,604	6,110	5,467	4,773	4,118	3,474
割合 (%)	年少人口 (0~14歳)	9.9	9.1	8.4	8.4	8.0	7.6	7.1	6.7	6.5	6.5
	生産年齢人口 (15~64歳)	55.6	54.6	53.1	49.8	47.1	44.8	43.5	42.8	41.9	41.5
	老年人口 (65歳以上)	34.5	36.3	38.5	41.8	44.9	47.6	49.4	50.5	51.6	52.0

(3)パターン3(10年純移動率)

基準人口	令和7年10月1日(住民基本台帳人口)
合計特殊出生率	厚生労働省「人口動態統計(特殊報告)」によるH30～R4の実績値(1.44)が今後も継続
男女年齢別生存率	社人研「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」の仮定値に準拠
純移動率	住民基本台帳における平成27年～令和7年の男女別5歳階級別純移動率

■総人口と年齢3区分別人口割合の推移

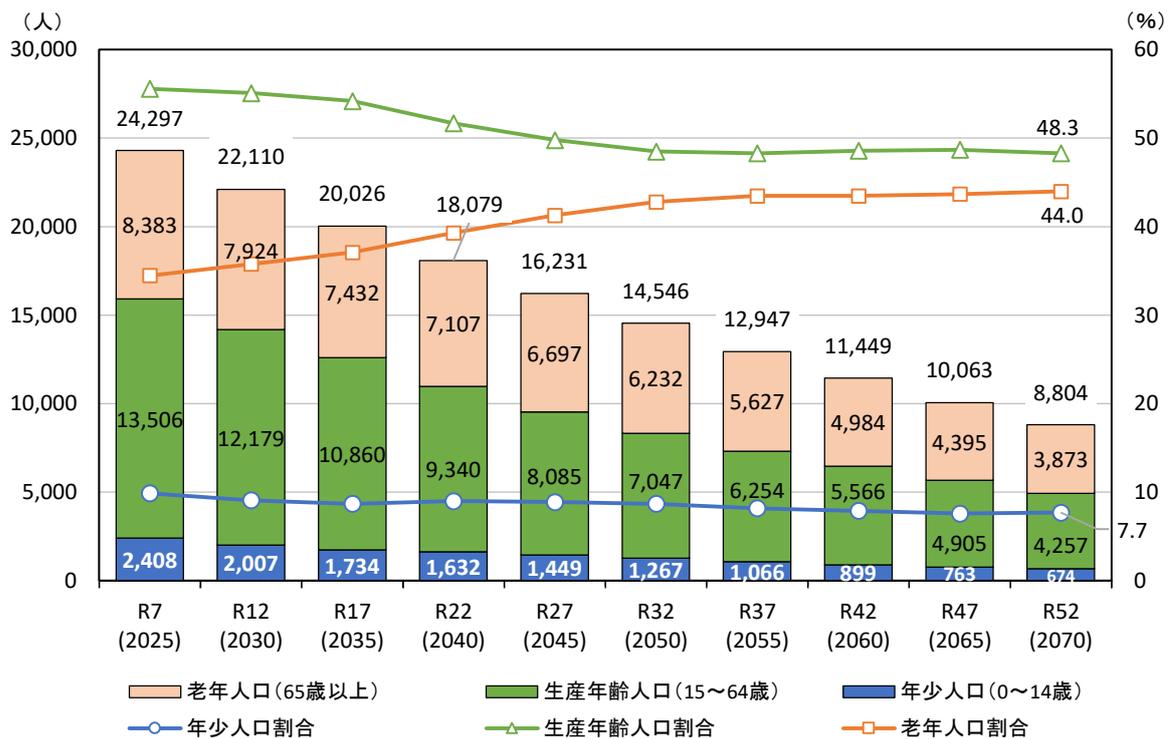


		R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)	R27 (2045)	R32 (2050)	R37 (2055)	R42 (2060)	R47 (2065)	R52 (2070)
人口 (人)	総人口	24,297	22,055	19,917	17,923	16,033	14,316	12,691	11,171	9,768	8,495
	年少人口 (0～14歳)	2,408	1,999	1,714	1,599	1,407	1,222	1,024	861	726	637
	生産年齢人口 (15～64歳)	13,506	12,132	10,771	9,217	7,929	6,862	6,049	5,351	4,687	4,051
	老年人口 (65歳以上)	8,383	7,924	7,432	7,107	6,697	6,232	5,618	4,959	4,355	3,807
割合 (%)	年少人口 (0～14歳)	9.9	9.1	8.6	8.9	8.8	8.5	8.1	7.7	7.4	7.5
	生産年齢人口 (15～64歳)	55.6	55.0	54.1	51.4	49.4	48.0	47.6	47.9	48.0	47.7
	老年人口 (65歳以上)	34.5	35.9	37.3	39.7	41.8	43.5	44.3	44.4	44.6	44.8

(4)パターン4(10年純移動率改善)

基準人口	令和7年10月1日(住民基本台帳人口)
合計特殊出生率	厚生労働省「人口動態統計(特殊報告)」によるH30～R4の実績値(1.44)が今後も継続
男女年齢別生存率	社人研「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」の仮定値に準拠
純移動率	住民基本台帳における平成27年～令和7年の男女別5歳階級別純移動率を基本とし20～30代の純移動率が10%改善すると仮定

■総人口と年齢3区分別人口割合の推移

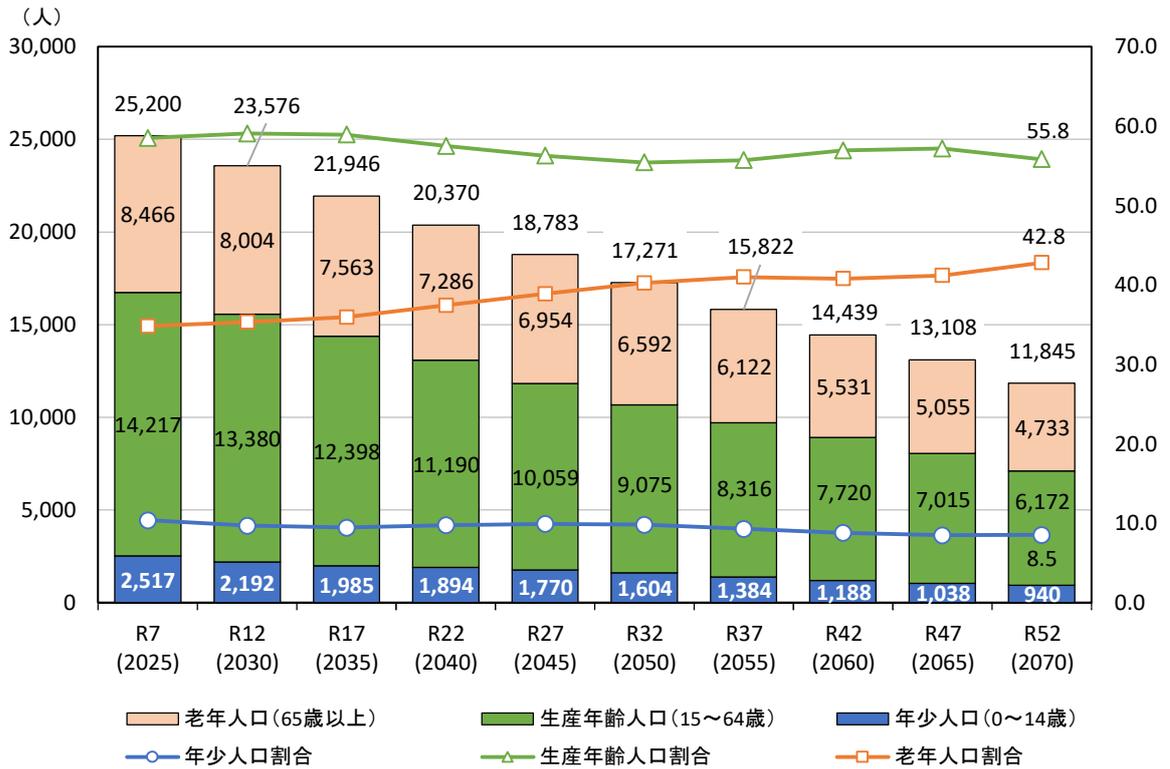


		R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)	R27 (2045)	R32 (2050)	R37 (2055)	R42 (2060)	R47 (2065)	R52 (2070)
人口 (人)	総人口	24,297	22,110	20,026	18,079	16,231	14,546	12,947	11,449	10,063	8,804
	年少人口 (0~14歳)	2,408	2,007	1,734	1,632	1,449	1,267	1,066	899	763	674
	生産年齢人口 (15~64歳)	13,506	12,179	10,860	9,340	8,085	7,047	6,254	5,566	4,905	4,257
	老年人口 (65歳以上)	8,383	7,924	7,432	7,107	6,697	6,232	5,627	4,984	4,395	3,873
割合 (%)	年少人口 (0~14歳)	9.9	9.1	8.7	9.0	8.9	8.7	8.2	7.9	7.6	7.7
	生産年齢人口 (15~64歳)	55.6	55.1	54.2	51.7	49.8	48.5	48.3	48.6	48.7	48.3
	老年人口 (65歳以上)	34.5	35.8	37.1	39.3	41.3	42.8	43.5	43.5	43.7	44.0

(5)《参考》社人研推計準拠

基準人口	令和2年10月1日(国勢調査人口)
合計特殊出生率	社人研「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」の仮定値に準拠
男女年齢別生存率	社人研「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」の仮定値に準拠
純移動率	社人研「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」の仮定値に準拠

■総人口と年齢3区分別人口割合の推移

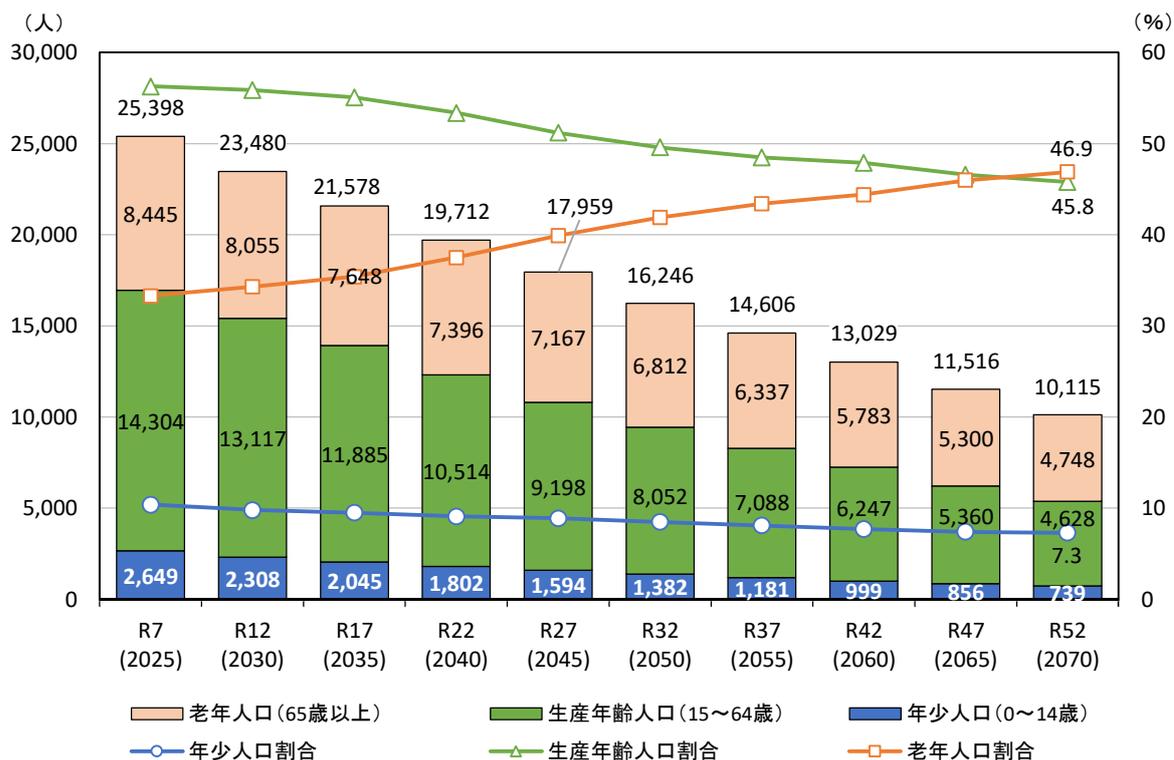


		R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)	R27 (2045)	R32 (2050)	R37 (2055)	R42 (2060)	R47 (2065)	R52 (2070)
人口 (人)	総人口	25,200	23,576	21,946	20,370	18,783	17,271	15,822	14,439	13,108	11,845
	年少人口 (0~14歳)	2,517	2,192	1,985	1,894	1,770	1,604	1,384	1,188	1,038	940
	生産年齢人口 (15~64歳)	14,217	13,380	12,398	11,190	10,059	9,075	8,316	7,720	7,015	6,172
	老年人口 (65歳以上)	8,466	8,004	7,563	7,286	6,954	6,592	6,122	5,531	5,055	4,733
割合 (%)	年少人口 (0~14歳)	10.0	9.3	9.0	9.3	9.4	9.3	8.7	8.2	7.9	7.9
	生産年齢人口 (15~64歳)	56.4	56.7	56.5	54.9	53.6	52.5	52.6	53.5	53.5	52.1
	老年人口 (65歳以上)	33.6	34.0	34.5	35.8	37.0	38.2	38.7	38.3	38.6	40.0

(6)《参考》名寄市人口ビジョン

基準人口	令和2年10月1日(国勢調査人口)
合計特殊出生率	令和2年(2020年)の合計特殊出生率(1.52)を維持すると仮定
男女年齢別生存率	社人研「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)に準拠
純移動率	社人研「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)に準拠

■総人口と年齢3区分別人口割合の推移



		R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)	R27 (2045)	R32 (2050)	R37 (2055)	R42 (2060)	R47 (2065)	R52 (2070)
人口 (人)	総人口	25,398	23,480	21,578	19,712	17,959	16,246	14,606	13,029	11,516	10,115
	年少人口 (0~14歳)	2,649	2,308	2,045	1,802	1,594	1,382	1,181	999	856	739
	生産年齢人口 (15~64歳)	14,304	13,117	11,885	10,514	9,198	8,052	7,088	6,247	5,360	4,628
	老年人口 (65歳以上)	8,445	8,055	7,648	7,396	7,167	6,812	6,337	5,783	5,300	4,748
割合 (%)	年少人口 (0~14歳)	10.4	9.8	9.5	9.1	8.9	8.5	8.1	7.7	7.4	7.3
	生産年齢人口 (15~64歳)	56.3	55.9	55.1	53.4	51.2	49.6	48.5	47.9	46.6	45.8
	老年人口 (65歳以上)	33.3	34.3	35.4	37.5	39.9	41.9	43.4	44.4	46.0	46.9

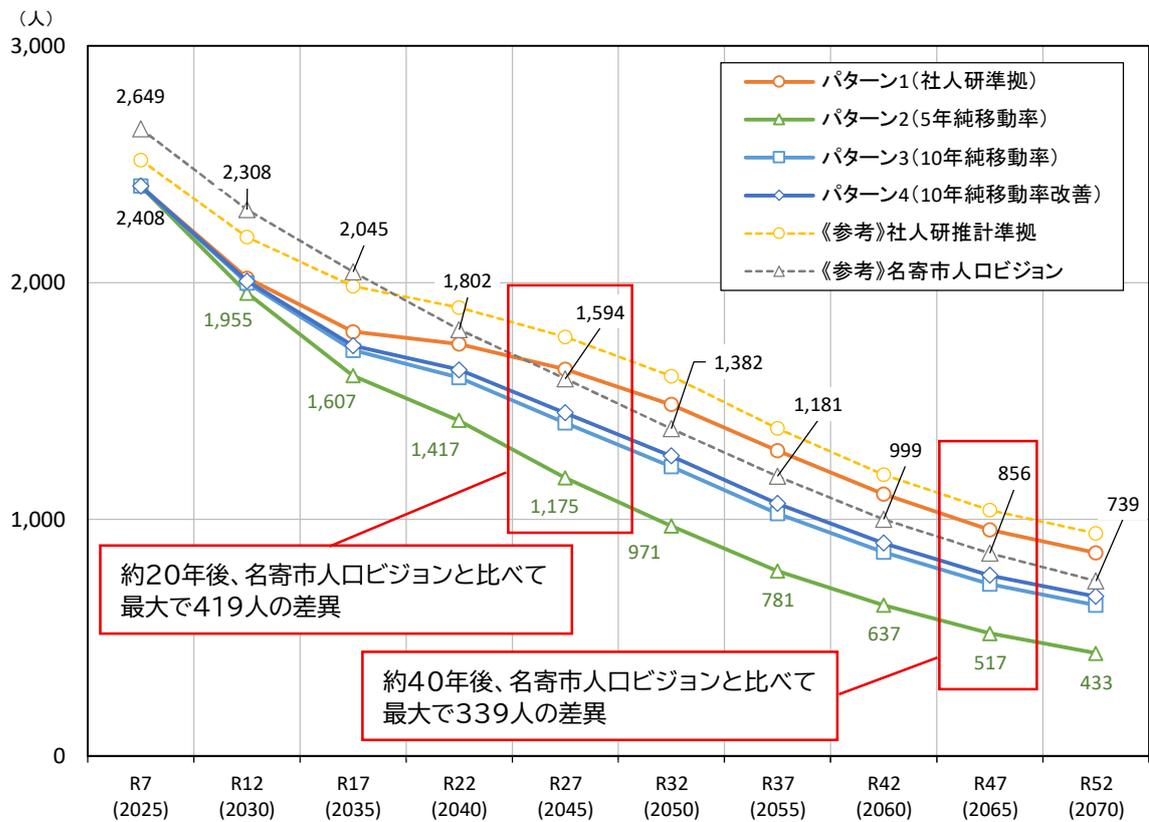
4 年齢3区分別人口の比較

(1)年少人口(0～14歳)

過去5年間の純移動率が今後も続くと仮定したパターン2の年少人口(0～14歳)が最も少なく、約20年後の令和27年は1,175人、約40年後の令和47年は517人になると見込まれます。

パターン2の年少人口(0～14歳)を名寄市人口ビジョンと比較すると、約20年後の令和27年には419人、約40年後の令和47年には339人少ない推計結果となります。

■年少人口(0～14歳)の推移



単位:人

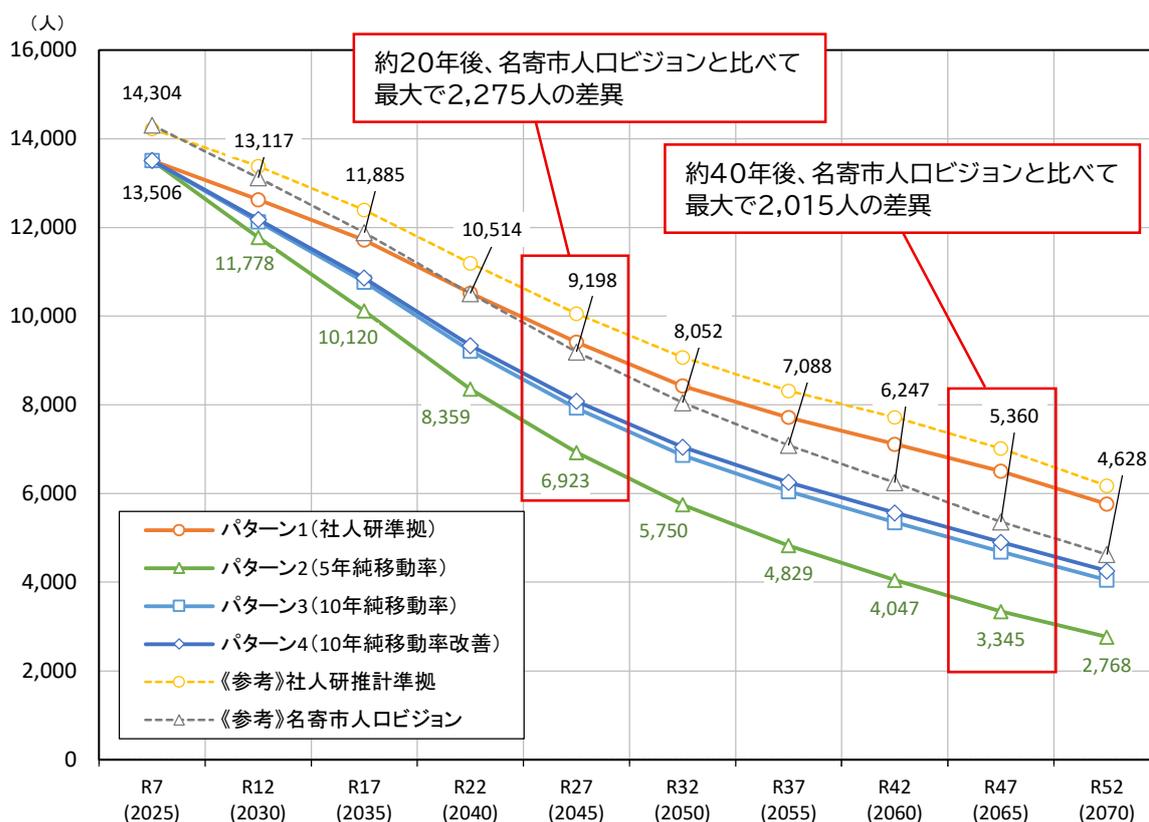
パターン名	R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)	R27 (2045)	R32 (2050)	R37 (2055)	R42 (2060)	R47 (2065)	R52 (2070)
パターン1 (社人研準拠)	2,408	2,019	1,792	1,741	1,634	1,484	1,289	1,106	955	858
パターン2 (5年純移動率)	2,408	1,955	1,607	1,417	1,175	971	781	637	517	433
パターン3 (10年純移動率)	2,408	1,999	1,714	1,599	1,407	1,222	1,024	861	726	637
パターン4 (10年純移動率改善)	2,408	2,007	1,734	1,632	1,449	1,267	1,066	899	763	674
《参考》社人研推計準拠	2,517	2,192	1,985	1,894	1,770	1,604	1,384	1,188	1,038	940
《参考》名寄市人口ビジョン	2,649	2,308	2,045	1,802	1,594	1,382	1,181	999	856	739

(2)生産年齢人口(15～64歳)

過去5年間の純移動率が今後も続くと仮定したパターン2の生産年齢人口(15～64歳)が最も少なく、約20年後の令和27年は6,923人、約40年後の令和47年は3,343人になると見込まれます。

パターン2の生産年齢人口(15～64歳)を名寄市人口ビジョンと比較すると、約20年後の令和27年には2,275人、約40年後の令和47年には2,015人少ない推計結果となります。

■生産年齢人口(15～64歳)の推移



単位:人

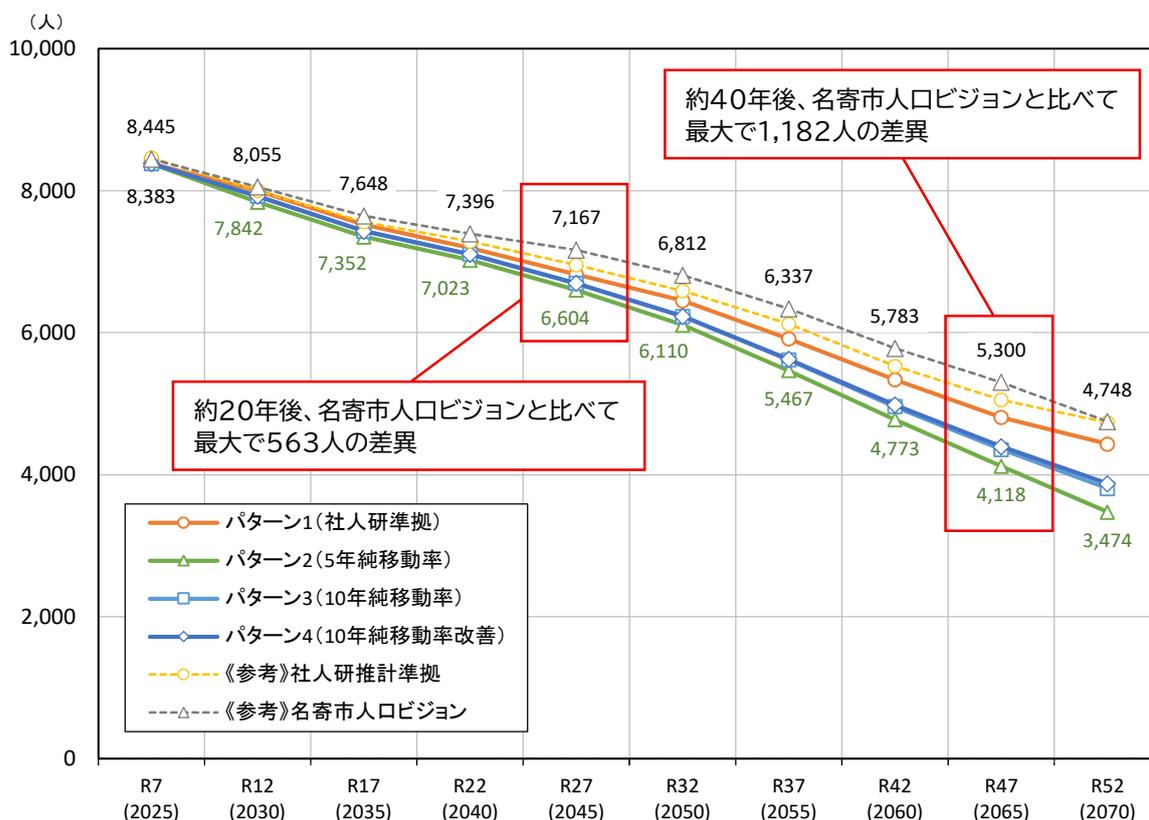
パターン名	R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)	R27 (2045)	R32 (2050)	R37 (2055)	R42 (2060)	R47 (2065)	R52 (2070)
パターン1 (社人研準拠)	13,506	12,625	11,717	10,521	9,415	8,431	7,719	7,112	6,503	5,764
パターン2 (5年純移動率)	13,506	11,778	10,120	8,359	6,923	5,750	4,829	4,047	3,345	2,768
パターン3 (10年純移動率)	13,506	12,132	10,771	9,217	7,929	6,862	6,049	5,351	4,687	4,051
パターン4 (10年純移動率改善)	13,506	12,179	10,860	9,340	8,085	7,047	6,254	5,566	4,905	4,257
《参考》社人研推計準拠	14,217	13,380	12,398	11,190	10,059	9,075	8,316	7,720	7,015	6,172
《参考》名寄市人口ビジョン	14,304	13,117	11,885	10,514	9,198	8,052	7,088	6,247	5,360	4,628

(3) 老年人口(65歳以上)

過去5年間の純移動率が今後も続くと仮定したパターン2の老年人口(65歳以上)が最も少なく、約20年後の令和27年は6,604人、約40年後の令和47年は4,118人になると見込まれます。

パターン2の老年人口(65歳以上)を名寄市人口ビジョンと比較すると、約20年後の令和27年には563人、約40年後の令和47年には1,182人少ない推計結果となります。

■ 老年人口(65歳以上)の推移



単位:人

パターン名	R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)	R27 (2045)	R32 (2050)	R37 (2055)	R42 (2060)	R47 (2065)	R52 (2070)
パターン1 (社人研準拠)	8,383	8,001	7,522	7,196	6,823	6,452	5,916	5,338	4,806	4,431
パターン2 (5年純移動率)	8,383	7,842	7,352	7,023	6,604	6,110	5,467	4,773	4,118	3,474
パターン3 (10年純移動率)	8,383	7,924	7,432	7,107	6,697	6,232	5,618	4,959	4,355	3,807
パターン4 (10年純移動率改善)	8,383	7,924	7,432	7,107	6,697	6,232	5,627	4,984	4,395	3,873
《参考》社人研推計準拠	8,466	8,004	7,563	7,286	6,954	6,592	6,122	5,531	5,055	4,733
《参考》名寄市人口ビジョン	8,445	8,055	7,648	7,396	7,167	6,812	6,337	5,783	5,300	4,748